

2023年（令和5年）
8月号・No.214

広報 よしか

吉賀町の人口・世帯数
（令和5年6月30日現在）
人 男 5,763人（+20）
女 2,769人（+19）
世帯数 3,994人（+1）
（ ）内は前月との比較



水とすむまち
吉賀町

吉賀町名誉町民 澄川 喜一 さん 追悼

～ご冥福をお祈り申し上げます～

去る4月9日に吉賀町名誉町民の澄川喜一さんが享年91歳でご逝去されました。生前のご厚誼に心より感謝申し上げます。2年前に吉賀町に帰郷された時の記事の一部をご紹介します。



令和2年12月14日（月）に吉賀町名誉町民澄川喜一先生がふるさと吉賀町へ帰郷されました。

まず初めに吉賀高等学校を訪問されました。渡部校長より祝辞が述べられ、生徒代表の生徒会会長明渡遼平さんからは「東京研修で見た東京スカイツリー®。そのデザインを手がけた方と知り驚いた」と、町出身の澄川先生と日本のシンボルとも言える作品との親近感を伝えていました。

その後、生徒会副会長岡本ひなたさんと一緒に花束を手渡し、祝福の拍手が送られました。

澄川先生の講話の中では、「恩師との出会い、先生方の後押しで今の自分がいる」「大学受験の際、親への説得に校長先生自ら会いに来てくれた」と恩師への感謝と、「徹底的に努力する事が大事」とたゆまぬ努力の重要性を話され、生徒は真剣に聞き入っていました。その後、澄川先生を囲み、全員で集合写真を撮影しました。

高校をあとにし、次は母校、六日市小学校を訪問されました。全校児童が迎える中、体育館へ入場された澄川先生。お祝いの言葉を坂本瑛太さん（6年）が述べ、「五重の塔と同じ構造を用いて東京スカイツリー®をデザインされたと聞いてびっくりした」「これからもみんなの心に残る作品をつくってください」と尊敬とお祝いの気持ちを澄川先生へ伝えていました。花束を正木陽太さん（1年）が手渡し、全児童から拍手が送られました。



（六日市小学校児童に向けてお話をされる澄川喜一先生）

澄川先生から児童に向けて「女性の先生の絵を描き上手とほめられ興味関心が沸き、芸術家を目指すきっかけとなった」と小学校時代の思い出の話をされ、「才能をつかむため、将来の事を考えてほしい」とエールを送られました。

午後からは役場庁舎において町民、職員でお出迎えし、ご功績をお祝いしました。

その後、六日市基幹集落センターにおいて、文化勲章受章祝賀式が執り行われ、岩本町長、安永議長、来賓の島根県知事代理島根県副知事松尾紳次様、島根県議会議長中村芳信様が祝辞を述べられました。次に、六日市小学校時の同級生、福原妙子さんが花束を手渡し、昔懐かしい同級生との再会に笑みがこぼれていました。

澄川先生から「郷里に帰るということは気持ちが爽やかになる」「いつも思い出すのは六日市小学校の坂道、またのぼる事ができた」「ふるさとの空気に触れ、喜びと思い出と、もう少し頑張ろうかなあと思う」とふるさと吉賀町の自然、思い出に触れ地元への感謝を述べられました。

最後に出席者と記念撮影を行い、出席者全員で祝意の拍手を送りました。

（広報よしか2021年2月号より）

【町長メッセージ】

吉賀町名誉町民 澄川喜一先生ご逝去に際して

当町ご出身で文化勲章受章者であります名誉町民澄川喜一先生が、去る4月9日ご逝去されたという訃報に突然接したところであります。

澄川先生は、当町ご出身で、地元六日市尋常高等小学校から、現在の山口県立岩国工業高等学校、東京芸術大学に進学されました。ご卒業後は、新制作展や個展、グループ展で精力的に作品の発表を続けられ、母校である東京芸術大学では、学長も務められました。多くの後進を育てるとともに、平櫛田中賞や吉田五十八賞などの数々の受賞を重ね、日本芸術院会員や文化功労者に顕彰され、紫綬褒章・紺綬褒章・恩賜賞、そして文化勲章の栄にも浴されました。今や現代日本彫刻界を代表し、牽引する作家のお一人でありました。

先生の「そりのあるかたち」をはじめとする作品シリーズは、美術史上において確固たる評価を得ています。また、「東京スカイツリー」のデザイン監修や東京湾アクアラインの「風の塔」をはじめ日本各地の公共施設のモニュメントも数多く手掛けるなど、美術界のみならず広く一般にも、その仕事は高い評価と知名度を誇っています。町内には、むいかいち温泉ゆ・ら・らに併設された澄川喜一記念公園に「およりんさんせ」、「風」、「TO THE SKY」、島根県立吉賀高等学校に「翔」の4つの作品が設置されています。島根県内でも益田市の萩・石見空港や芸術文化センターグラントワをはじめ多くの作品が存在しています。さらに、先生のご縁で、山口県宇部市とは、UBEビエンナーレ現代日本彫刻展を通じた交流も数年前から行っているところです。

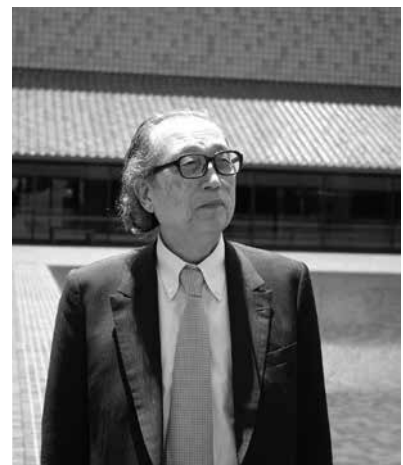
私も以前から、毎年数回お会いする機会を頂いておりましたが、ここ数年はコロナ禍でそのことも叶わない日々が続いておりました。このような中で、今回の訃報に接し大変残念であるとともに、無念さを痛感しているところであります。先生が、愛してやまなかった故郷を地域の皆さんとともに、これからもしっかりと守っていきたいと思います。改めて、澄川先生のこれまでのご功績に対して敬意を表しますとともに、当町の発展に対するご支援ご協力に心から感謝申し上げたいと思います。

ここに謹んで、ご冥福をお祈り申し上げ、吉賀町を代表してのお別れの言葉と致します。

島根県吉賀町長 岩本一巳

澄川 喜一さん 略歴

- 1931年 島根県鹿足郡六日市町（現・吉賀町）に生まれる
- 1951年 山口県立岩国工業高等学校機械科卒業
- 1958年 東京芸術大学彫刻専攻科修了
- 1979年 第8回平櫛田中賞「そりのあるかたち-1」
- 1980年 第11回中原悌二郎賞優秀賞「そぎとそりのあるかたち」
- 1981年 東京芸術大学彫刻科教授となる
- 1988年 第13回吉田五十八賞「山口県庁前庭『鷺舞の譜』他」
- 1995年 東京芸術大学学長に就任
- 1996年 吉賀町名誉町民
- 1998年 紫綬褒章
- 1999年 紺綬褒章
- 2001年 東京芸術大学名誉教授に就任
- 2003年 日本芸術院賞・恩賜賞
- 2004年 日本芸術院会員に就任
- 2005年 芸術文化センター「グラントワ」センター長に就任
- 2006年～2012年 「東京スカイツリー®」デザイン監修
- 2008年 文化功労者顕彰
- 2020年 文化勲章受章
- 2021年 県民栄誉賞



令和5年度吉賀町消防操法大会が開催されました！

晴天に恵まれた6月25日（日）大野原運動交流広場において、令和5年度吉賀町消防操法大会が開催されました。

この大会は、迅速、的確かつ安全に消防活動に従事できるよう定められた、消防用機械器具の取扱い及び操作方法を習得する為に、毎年開催されています。

今年度はポンプ車の部3チーム、小型ポンプの部4チーム、軽可搬ポンプの部1チームが訓練を行い、各分団から選抜された選手は5月中旬から訓練を積み重ねました。

大会当日は、ポンプ車の部3チーム、小型ポンプの部3チームで競技が行い、訓練の成果をいかに発揮されました。



今年度は県大会こそ開催されませんが、各チームそれぞれが熱い競技を見せて頂き、驚くべきタイムや、限界まで頑張る姿、ピタッと揃った敬礼など見ている側も楽しくなり、競技終了後には自然と拍手が飛び交っていました。

来年は県大会も開催される為、弾みをつける良い大会になったと思います。



大会の結果は、以下のとおりです。

（ポンプ車の部）

優 勝 第3分団（柿木）
準優勝 第1分団（六日市）
第3位 第2分団（七日市）

（小型ポンプの部）

優 勝 第7分団（下須・白谷）
準優勝 第8分団（木部谷・大野原）
第3位 第3分団（柿木）



初代吉賀町消防団団長 故羽野善雄さんに叙位を伝達

19年間にわたり消防団長を務めて頂き、去る令和4年11月10日にご逝去された羽野善雄さん（享年97歳・福川）に、叙位従六位が授与されることになりました。6月21日に善雄さんのご子息の羽野正三さんへ岩本町長から位記が伝達されました。

羽野善雄さんは昭和20年9月2日に柿木村警防団に入団以来、分団長16年、副団長27年と永きにわたり代々の団長を献身的に補佐してられました。そして平成元年4月に柿木村消防団団長に就任され、また町村合併で新町とともに誕生した吉賀町消防団の初代団長にも就任され、19年間団長を務めていただきました。

平成19年9月30日で吉賀町消防団を退団されるまでの62年間にわたり消防業務にご尽力いただきました。

消防団在職中は、自身の業務多忙をも顧みず永きにわたり幹部として、組織の統制、団員の士気高揚を図り、防火思想の普及及び消防施設の整備等に努められ、消防業務の遂行に尽くして頂きました。さらに、町村合併に係る消防団の組織統合に当たっては、精力的に組織間の調整に関わり、新組織の誕生にも力を尽くしていただきました。

このたび、多大な貢献をされた功績が叙位の榮譽として認められました。



道の駅かきのきむら 防災・健活フェア開催

6月25日（日）に、「防災・健活フェア」が、吉賀町ふれあい会館で開催されました。

当日は、東日本大震災を経験された樋口ふみさんから、「災害時の備えできていますか」という内容の講義があり、15名の方が参加されました。急な病気やケガ、突然の事故、災害など、もしもの時に備え、連絡先リストの作成に取組みました。携帯電話を見ないことを前提に作成しましたが、電話番号がすぐ分からない方が多数おられ、あらかじめ緊急リストを紙ベースで作っておくことの重要性を学びました。

防災講義の後は、インストラクターの齋藤陽子さんを講師とした健康ヨガの実践や、豚汁のふるまい、消防車・ダンプの体験試乗、よしかの里の防災食の販売などが行われ、町内外から家族連れの参加者など多数の方が来場されました。



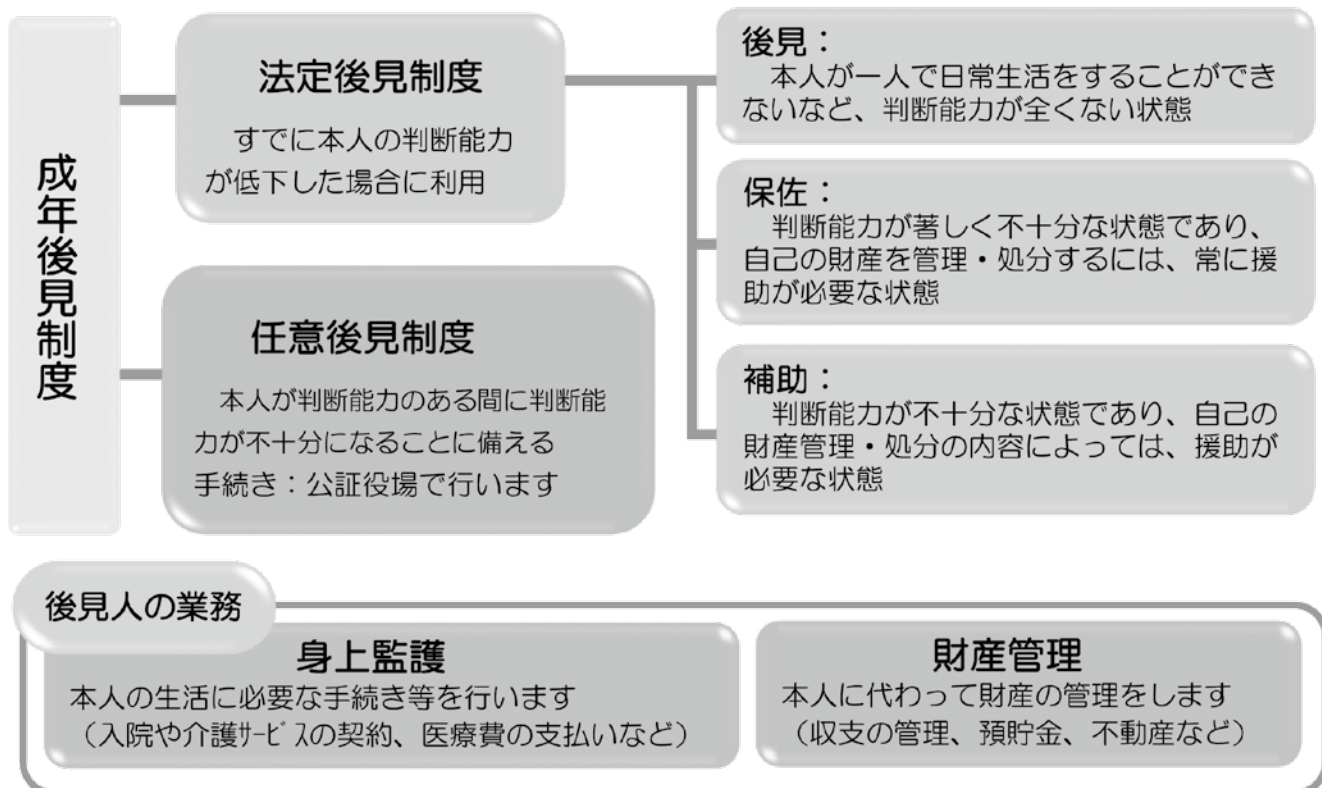
成年後見制度に関する相談は 吉賀町成年後見センター（中核機関）まで！

成年後見制度について

成年後見制度とは、認知症や精神障害、知的障害などの理由で、判断能力が十分でない方の財産管理や日常生活での契約などを行うときに、判断が難しく不利益を被ったり、悪質商法の被害者となることを防ぎ、権利と財産を守ることによって暮らしを守り支援をする制度です。

成年後見制度には、「法定後見制度」と「任意後見制度」の2種類があります。

さらに、「法定後見制度」には、本人の判断能力の程度によって「後見」「保佐」「補助」と3つの類型があります。



成年後見制度は、平成12年に施行されました。同時に介護保険制度が施行され、これまでの「措置」という行政処分を通じてサービス提供されていた時代から、介護を必要とする利用者と介護事業者との「契約」を通じて介護サービスが提供される時代となりました。認知症などにより契約行為が難しくなった方も必要なサービスが受けられたり、本人の意思や生き方を尊重した生活の支援ができるように、成年後見制度が整備されました。

しかし、成年後見制度の利用者数は近年増加傾向にあるものの、その利用者数は認知症高齢者等の数と比較して著しく少ない状況となっています。成年後見の申立て動機で多いのは、預貯金の解約等に次いで施設入所契約となっています。社会生活上の大きな支障が生じない限り、当制度があまり利用されていないという現状があります。そこで、そのような課題への対応策として吉賀町では令和4年に地域連携の中核となる機関として「吉賀町成年後見センター（中核機関）」を設置しています。

吉賀町成年後見センターにご相談を。

吉賀町では、国の成年後見制度利用促進基本計画(平成 29 年 3 月 24 日閣議決定)に基づいて、令和 4 年 4 月 1 日より権利擁護に関する地域連携の中核を担う機関として「吉賀町成年後見センター」を設置しています。

吉賀町成年後見センター（中核機関）とは？

介護保険制度開始と同時期の平成 12 年からはじまった成年後見制度ですが、現状として、利用普及が十分に進んでいないことや、実際に利用に至るまでの判断が難しいなどの状況があります。このような背景があり、成年後見制度など本人の生活を守るための制度が利用しやすくなるように、「地域連携ネットワークの中核となる機関」として設置されたのが「吉賀町成年後見センター（中核機関）」です。

吉賀町では、吉賀町で暮らすすべての人々の人権を尊重し、一人ひとりがその人らしく地域で安心して生活できるよう、関係機関との連携及び協働により、成年後見制度等の普及及び相談、成年後見制度の利用の促進、後見人の支援、その他各種の権利擁護のための事業を行うことを目的に吉賀町が吉賀町社会福祉協議会にその事務の一部を委託し、吉賀町役場保健福祉課と吉賀町社会福祉協議会とで中核機関の機能を担う「吉賀町成年後見センター」を設置しました。

「吉賀町成年後見センター（中核機関）」には、以下の 5 つの役割があります。

① 広報・啓発

成年後見制度等の権利擁護事業に関する周知や、吉賀町成年後見センターの周知を行います。

② 権利擁護や成年後見制度の相談窓口

成年後見制度をはじめ、権利擁護支援に関するさまざまな相談を受け付け、一緒に考えて行きます。

③ 成年後見制度の利用促進

成年後見の申立てに関する書類等作成支援や、法人後見の担い手育成・活動支援を行います。

④ 後見人の支援

チーム等支援会議の調整・コーディネートや後見人等の相談窓口及び勉強会の開催、報告書類等作成支援を行います。

⑤ 地域連携ネットワーク構築

専門職団体や関係機関が連携体制を強化するための協議会の構築や運営に関する業務を行います。

成年後見制度や権利擁護に関するご相談、「吉賀町成年後見センター（中核機関）」などに関するお問い合わせは、下記連絡先までお願いします。

吉賀町成年後見センター（吉賀町社会福祉協議会内）
ところ：吉賀町社会福祉協議会（吉賀町福祉センター）
でんわ：0856-77-0136 担当：上山

環境情報 知っていますか「30・10（さんまるいちまる）運動」 ～食品ロス問題～

○「食品ロス」とは？

「食品ロス（またはフードロス）」とは、本来食べられるにもかかわらず捨てられている食品のことで、日本全国で年間523万トン（令和3年度推計値）発生しています。これは、国民一人当たりで換算すると、「お茶碗一杯分のご飯」が毎日捨てられていることになります。

食品ロスを減らすためには、ひとりひとりが食品ロスに対する認識を高め、消費行動を改善することが重要です。今回は食品ロス問題に関連して、「30・10（さんまるいちまる）運動」の取り組みについて紹介します。

○お料理は残さず食べましょう！

「30・10（さんまるいちまる）運動」とは、宴会や会食で、「最初の30分間と最後の10分間はお料理を楽しむことで食べ残しを減らしましょう」という運動です。

日本では、食料の多くを輸入に頼りながら、大量の食べ物が無駄に捨てられています。宴会や会食で、お料理を食べ残す量は、ランチ・定食の5倍とされています。皆さん、楽しい会話に夢中になってお料理を残していませんか。そこで、「30・10運動」の実践です。

- ①注文するときは、食べきれる量を注文しましょう。また、食べられないものは、先に伝えておきましょう。
- ②乾杯後30分間は、席に着いて、お料理を楽しみましょう。
- ③お開きの10分前は席に戻り、お料理を残さずに食べましょう。

○上高尻地区サロンにて取組を紹介しました！

6月21日（水）に岩本町長が、上高尻地区サロンを訪問し、「30・10運動」の取組を紹介させていただきました。「30・10運動」は、知ってさえいれば誰でも気軽に取り組むことができます。夏休みシーズンに向けて宴会や会食の機会も増えることと思いますが、「30・10運動」を実践し、食品ロスの削減に取り組みましょう。



吉賀町小水力発電所を見学してみませんか？

愛称は「かきのきすいでんくん」です。昭和28年から発電を開始し、毎日発電しています。水力発電は、二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しないクリーンな※再生可能エネルギーです。高津川の豊かな水の力で発電している「かきのきすいでんくん」を個人でも団体でもご見学いただけます。

※（再生可能エネルギーとは、水力・太陽光・地熱・風力といった自然界に常に存在するエネルギーのこと）

問い合わせ先（柿木地域振興室）

TEL: 0856-79-2211

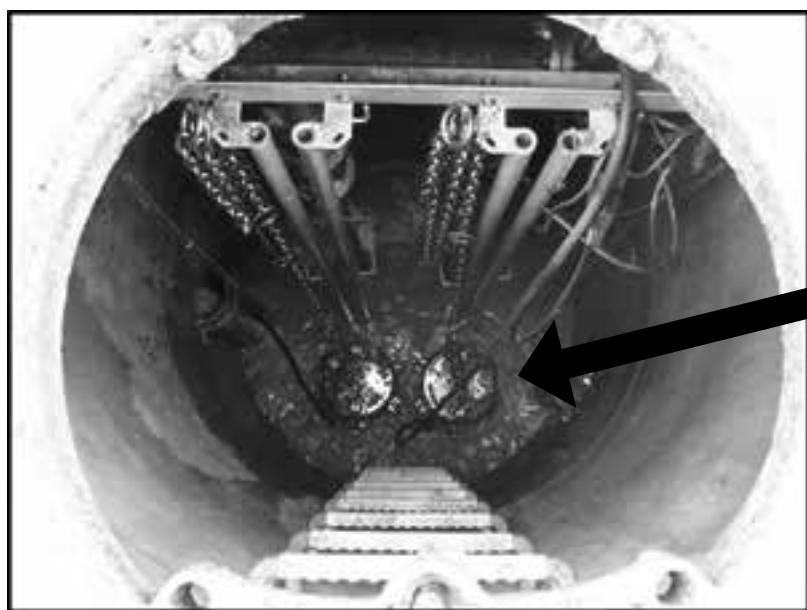
FAX: 0856-79-2344



上下水道コラム

～下水道について～

吉賀町では六日市・七日市地区に下水道が、柿木・初見新田地区に農業集落排水処理施設が整備されています。各家庭で出る汚水は自然流下で流れていきます。自然流下ができない箇所では、マンホールの中にポンプを設置し、そのポンプによって吸い上げられて、再度自然流下で流れていきます。そうして集められた汚水は浄化センターや農業集落排水処理施設で処理されます。



ポンプが二台あります。
一つが故障しても、もう一つ
が稼働します。

マンホールポンプ内の写真です

異物による故障

下水道・農業集落排水処理施設には本来流すべきではないものが流れてくることがあります。一例として、バスタオル・座薬の空容器・下着・ビニール袋などです。このようなものはマンホールポンプの故障の原因となります。

近年、大量に流れてきた油が冷めて固まり、ポンプに絡んだことで汚水を吸えなくなった事例が何度か発生しています。汚水が吸えなくなると下水管の中を逆流し、家庭のトイレなどから汚水があふれることがあります。

そのため、下水道や農業集落排水処理施設に異物や大量の油を流さないようにしてください。油は市販の凝固剤などで固めて可燃ごみに出すようにしてください。

また、下記のようなことがありましたら吉賀町役場建設水道課 Tel (0856) 79-2212 までご連絡ください。

- ・マンホールから汚水があふれている
- ・マンホールから異臭がする。
- ・公共ますのふたが破損している など

～吉賀高等学校支援協議会総会を開催しました。～

6月17日、六日市基幹集落センターにて、吉賀高等学校支援協議会 総会が開催されました。吉賀高等学校支援協議会は、高校の活動をより一層充実させるために、2019年に設立された団体です。岩本一巳会長をはじめ、30名近くの方にご参加をいただきました。

例年通り、昨年度の事業や会計報告だけでなく、吉賀高校や吉賀高校支援室の現状報告もありました。報告後には、理事や会員の方のご意見をいただき、高校や支援室の活動の成果や課題について、意見交換をすることができました。

また、今年度は、島根県教育委員会から、高橋洋平様にオンラインでご参加いただきました。高橋様からは、高校魅力化の現状や、県内他町村の事例などについてお伺いしました。吉賀高校がより一層生徒にとって充実したものになるように尽力していきますので、今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。



親と子のよい歯のコンクール

野田梨奈（りな）さん・斗葉（とわ）くん親子が優秀賞を受賞

島根県と島根県歯科医師会では、前年度に3歳児歯科健診を受けた親子で、親子ともに歯や口の健康状態がよい方を表彰する「親と子の良い歯のコンクール」を毎年開催しています。

令和5年6月22日に、令和4年度に3歳児歯科健診を受けた4555人の中から、地区大会・書類診査を経て選ばれた6組の親子による最終診査が行われました。その結果、野田梨奈さん・斗葉くん親子が優秀賞に選ばれました！野田さんに、普段の取り組みや感想についてコメントを頂いているのでご紹介します。

いくつになっても食事や歯磨きは大切です。80歳になっても20本以上の歯を維持する「8020」を目指し、できることから取り組んでみましょう。

野田さんのコメント

①普段から歯のことで気をつけていること

日頃から特別に何かしているというわけではないのですが、1日3回の歯磨きと仕上げ（点検）磨きは毎日するようにしています。次男坊なので、長男の時よりも覚えるお菓子などの内容が早く多く…。なので、虫歯にならないか心配はしていましたが、1日に食べるおやつや量や内容に気をつけてみたり、食べた後はお茶を必ず飲むようにしてみたり、それとなく気にはかけていました。

②よい歯のコンクール（県大会）に出席した感想

今回、日頃の歯磨きの積み重ねが、親と子のよい歯のコンクール県大会出場と優秀賞受賞といった形で実を結んだことをとても嬉しく思っています。私の歯を虫歯のない歯に育ててくれた両親や祖父母への感謝の気持ちも忘れずに、これからも子どもたちと一緒に、虫歯のない健康な歯を育てることに取り組んでいきたいと思います。



棚田オーナーが草取をおこないました

6月25日（日）大井谷の棚田において棚田オーナーが草取をおこないました。暑い中の作業は大変でしたが、作業をすませた後は数年ぶりにお楽しみの交流会が開催され、棚田米むすびやバーベキューなど大井谷でとれた旬のものを囲んで、賑やかな雰囲気の中、農家のみなさんとオーナーのみなさんが親睦を深めました。

また、柿木小学校の5、6年生も6月27日（火）に草取をおこないました。秋の稲刈りが楽しみです。



宝くじの助成金でコミュニティ活動備品を整備しました

令和5年度コミュニティ助成（宝くじ助成金）事業を活用し、コミュニティ活動備品（メガホン、テーブル、物置、シュレッダー、発電機）を整備しました。

この事業は、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの普及広報を行うとともに、コミュニティの健全な発展を図ることを目的に宝くじの受託事業収入を財源として実施しているものです。

購入した助成事業物品などにはそれぞれ助成事業であることを示すキャラクター『クーちゃん』が表示されています。

コミュニティ助成事業により整備されたコミュニティ活動備品は次のとおりです。

- メガホンセット…1セット
- マイクロホン…1本
- テーブル…5台
- 物置…1台
- 電源…1台
- シュレッダー…1台

備品購入総額 約120万円



6月17日（土）子育て講演会より

令和5年度吉賀町子育て講演会が6月17日土曜日に吉賀町ふれあい会館で行われました。講師は「にゃーご」「おまえうまそうだな」等の恐竜シリーズ、「パパはウルトラマン」等のウルトラマンシリーズで有名な絵本作家の宮西達也氏で、吉賀町には19年ぶりの来町となりました。

日本だけではなく、海外でも絵本活動で活躍されていることなどを自己紹介された後、参加者に向けて次々と絵本の読み聞かせをしてくださいました。

気持ちよく聞いていたところなんと講師のご指名で、会場の保護者や保育所の先生たちが登場！講師といっしょに絵本の登場人物のセリフを分担をして何冊かの絵本を読み聞かせることとなりました。突然の指名に戸惑った様子でしたが、緊張しながらも、みんなでひとつの絵本を読みすすめることは、とても楽しく、貴重な体験になったことと思います。聞く側も、たいへん盛り上がりました。



大人にとっては、子どもに絵本を読むことはあっても、読んでもらうことはほとんどありません。あたたかくて愛がつまったこの素敵な時間、登場するものに思いをよせてドキドキワクワク心躍らせる楽しい時間となりました。

最後に、宮西氏は身体障がいの子どものとの出会いについてお話されました。

その子どもは、絵本の読み聞かせの後、宮西氏に言ったそうです。「とっても楽しかった！ぼく、一生懸命生きます！」と。この一言がいつも心の中に宿っておられ宮西氏自身も一生懸命生きているそうです。

大人が夢をもたないで、不平不満ばかり言っているようでは、子ども達も夢をもち明るい未来を創造できない。こんな時代だからこそ希望や夢を語りながら一生懸命生きてほしいと結ばれました。この講演会は、吉賀町子育て世代包括支援センター、吉賀町保育所連絡協議会、かのあし保育協議会の共催で行われました。子育て中の保護者、保育所職員、地域の子育て関係者等約100人が参



加されましたが、それぞれ心に残るひとときだったと思います。これからちょっとしたことに感動できる気持ちを大切に、子どもと一緒にかけがえのない時間を過ごしていきましょう。皆様ご参加ありがとうございました。

文責 かのあし保育協議会



食育コーナー 「私たちの健康は私たちの手で」

環境×食育フェア2023 吉高 開催！

6月13日に吉賀高校で『環境×食育フェア2023』を吉賀高等学校支援協議会主催にて開催しました。

第1部は、映画「弁当の日」の上映、第2部は、「食」や「環境」に関する展示ブースを設け、参加者に身の回りの食や環境について感じてもらいました。ブースはコロナ禍となってから実施ができていなかったため4年ぶりとなりました。

当日は、梅雨時期の蒸し暑い中での開催となりましたが、吉高生徒と一般参加者で計170名近くの方に参加していただきました。

映画「弁当の日」

香川県の小学校から始まった「弁当の日」。子どもたちが、自分で献立を考え、買い出し、調理、弁当詰めから片付けまで行います。弁当を作ることは、その食材を生産する人の思いに触れること、ご飯を作ってくれる人に改めて感謝すること、自分の生きる力を身につけていくこと。弁当の日は弁当を通して様々なことを学びとるための日だということがえがかれていました。

感想（アンケート抜粋）

- ・ 弁当という一つのもので人の心が動くのがとても感動した。将来親になった時、自分は子どもに何か成長できることをさせてあげたい。
- ・ 親にありがとうって伝えたくなった。高校でも弁当の日を実践したい。
- ・ 弁当の日を通じて温かい家庭のコミュニケーションを感じることができた

「みて・感じて・あじわって」環境と食のブース

フェアの最後は、7つの団体による環境と食のブースコーナーを開催しました。参加者がそれぞれのブースに分かれ、環境や食について体感することができました。有機野菜やお弁当、学校給食や朝ごはんの展示、EM菌を使った石鰯等の紹介、高津川に生息する魚の展示、森師の育成や活動、喫煙・飲酒の啓発などの内容のブースになりました



たくさんの参加者、協力団体の皆さんのおかげで、フェアを盛大に行うことができました。ありがとうございます。

中国地区空手道選手権大会、全国中学生空手道選手権大会、 全日本少年少女空手道選手権大会出場

吉賀中学校2年中野祥太郎（なかのしょうたろう）さん、柿木小学校4年中野麻子（なかのあさこ）さん、朝倉小学校1年仲村來暁（なかむらいこう）さん、六日市小学校1年金川虎太郎（かねかわこたろう）さんが7月に開催される中国地区空手道選手権大会に出場されます。また、祥太郎さんは8月に開催される全国中学生空手道選手権大会に、麻子さん、來暁さん、虎太郎さんは同月に開催される全日本少年少女空手道選手権大会にも出場されます。

祥太郎さんは、「結果は後からにして、自分の納得のいく形をうちたい」、麻子さんは、「みんながびっくりするような形をうちたい」、來暁さんは、「良い形をうてるように頑張る」、虎太郎さんは、「上手い形をやりたい」と意気込みを語られました。

岩本町長からは、大会に向けての激励の言葉が送られました。

祥太郎さん、麻子さん、來暁さん、虎太郎さんのご健闘をお祈りします。

また、5月に開催された島根県小学生空手道選手権大会幼年の形の部では、六日市保育所の仲村弥紘（なかむらやひろ）さんが1位になりました。

皆さんの今後の活躍がとても楽しみです。



写真1列目（左から） 中野麻子さん、仲村來暁さん、
金川虎太郎さん、中野祥太郎さん

写真2列目 仲村弥紘さん、岩本町長

令和5年度全国高等学校総合体育大会テニス競技大会へ出場

吉賀高等学校2年加藤那菜（かとうなな）さん、1年田口桜（たぐちさくら）さんが、6月1日から3日出雲市の浜山公園で行われた、島根県高等学校総合体育大会に出場され、シングルスの中で加藤さんは1位、田口さんは2位になり、ダブルスの部では優勝という結果を残され、8月4日から6日に北海道苫小牧市で開催される全国大会への出場を決められました。

全国への切符を掴み取ったお二人が、6月22日に表敬訪問され、加藤さんは、「昨年悔しい思いをしたので、今年は昨年よりもいいプレーをしたい」、田口さんは、「初めてのインターハイなので、自分のプレーをしっかりとやり遂げたい」と意気込みを語られました。

岩本町長からは、大会に向けて激励の言葉が送られました。

加藤さん、田口さんのご健闘をお祈りします。



左：加藤那菜さん 中央：田口桜さん 右：岩本町長

島根県中学校益田ブロックバレーボール大会 優勝

6月7～8日、島根県中学校益田ブロックバレーボール大会に吉賀中・柿木中合同チームで出場しました。予選を1位通過し、決勝トーナメント1回戦、益田中学校に2-0で勝利しました。そして、決勝戦は小野中学校との対戦となりました。1セット目を落とし、後が無い状況となりましたが、粘り強さを発揮し2-1で優勝することができました。

両校のキャプテンのコメントです。

「新人戦で優勝した私たちには、自信とプレッシャー、そして強い緊張がありました。そんな中でも自分たちのベストを尽くし優勝することができました。応援ありがとうございました。県大会では、私たちが目標としている県ベスト8を達成できるように、チーム一丸となって頑張ります。」
「私たち、吉賀中学校は人数が足りず、柿木中と合同でバレーをしています。今回の大会は3年生最後のブロック総体でした。他のチームもどんどん強くなっている中で、勝てるかという不安と緊張でいっぱいでした。ですが、チーム同士で支え合いながら1位を勝ち取れたのですごく嬉しかったです。今は県総体へ向けて練習に励んでいます。応援よろしくお願いします。」



交通安全地蔵祭りが開催されました

令和5年6月10日（土）柿木村下須法師淵地区で開催されました。約150年前に作られたと伝えられている座像1体と立像6体が地元住民の安全祈願として安置されており、2008年以降、3年ごとに供養祭りが開かれています。報国寺住職による読経と共に、地元に住む大人や子どもたちも熱心に祈りを捧げていました。



吉賀町立図書館

【大活字本とみたい便について】

大活字本をご存じでしょうか。文字通り活字が大きい本です。以前からありましたが、最近人気の作家の作品が増えました。図書館では「みたい便」という名前で、町内の老人福祉施設を主に巡回し、配本をしています。その中にはこの大活字本以外にも手芸などの制作の本、懐かしい昔の写真、脳トレの本といった様々な本を用意して高齢者の方々に読んでいただいています。

文字が大きいと読みやすいと言われる方もおられます。小さい文字に苦痛を感じているなら、お勧めです。大活字本は図書館に來られた方にも貸出していますので、どうぞご覧下さい。

【石見銀山展について】

6月15日～月末まで「銀の島のつ」展を行いました。展示物は、島根県教育庁文化財課からお借りしたパネルなどで、銀の積出港とされる温泉津の歴史をまとめ

たものでした。貴重な資料の写真パネルや児童向けの世界遺産、石見銀山について分かりやすく説明された資料もありました。近くにある世界文化遺産のご紹介でした。



【開館時間の延長について】

4月に開館延長の試行と皆様へのアンケートを実施いたしました。延長時間内の来客者数やアンケートの結果などをもとに図書館協議会で話し合いをいたしましたところ開館時間の延長は行わないことになりました。詳細については、図書館ホームページと館内に掲示しています。開館時間延長についてご報告をいたします。



《図書館利用状況6月》

- 貸出総数 3546冊
- 貸出人数 439人
- 来館者数 626人

【休館日と返却ポスト】

- ・8月14日(月)～16日(水)お盆休館です。
- ・毎月曜日と祝日(8/11山の日)
- ・図書返却ポスト 吉賀町内各公民館前に設置

《ベスト・リーダー！6月》

書名	著者
「審議官」	今野 敏 著
「黒蝶貝のピアス」	砂村かいり 著
「よき時を思う」	宮本 輝 著
「街とその不確かな壁」	村上 春樹 著
「特撮家族」	高見澤俊彦 著

毎年10月は加入促進強化月間です。

退職金

社長の決断、
応援します。

中退共の
退職金制度なら

安心

- 確実な退職金支払
- 安心の資産運用

有利

- 掛金の一部を国が助成
- 掛金は全額非課税

簡単

- 外部積立型で管理が簡単
- 退職金試算額もお知らせ

パートタイマーさんや家族従業員も加入できます

詳しくはホームページへ

中退共 検索

お問合せはお気軽に

(独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

TEL (03)6907-1234
FAX (03)5955-8211

八月八日は立秋。秋とはほど遠い、と感じるほどの暑さですが、暦の上ではもう秋。ふと見上げると、夏の雲とは違う、やさしい表情の雲が見られ始めます。流れるような雲や鰯雲。気温が高くてこのような雲が見られ始めたら、夏の高気圧が弱まってきている証拠。いつの間にかトンボが舞はじめ、暑い中にも風情が感じられます。立秋を過ぎたら、暑中見舞いではなく残暑見舞いを出します。残暑見舞いは、この日から八月末までに出します。

夏休みもあとひと月近く残っていて秋の実感はいまいち薄い印象。引き続き体調に気を付けて暑い日々を乗り切りましょう

柿木『図書だより』

開館 9:00~16:00 (平日)

*毎月曜日と祝日が休館日です

*第2, 4の土日は9:00~16:00

電話 79-2553

島根県鹿足郡吉賀町柿木79

今月の本の紹介

・体にうれしい

果実酒・野菜酒・薬用酒2000

福光佳奈子

・心と体にやさしい

手づくり石けんの教科書

佐々木薫

・焚き火と道具

猪野正哉

・有機給食スタートブック

鶴理恵子

・村上海賊の娘

谷口吉光

・魔法のコンパス

和田 竜

・道なき道の歩き方

西野亮廣

・リセット

北村 薫

・天使の爪

大沢在昌

・いま、会いにゆきます

市川拓司

・52ヘルツのクジラたち

町田そのこ

・王様ゲーム

金沢伸明

・102歳、一人暮らし。

石井哲代

・鬼哭の銃弾

深町秋生



映画「高津川」DVD寄贈

6月29日(木)映画「高津川」の錦織良成監督と錦織良成監督をささえる会「出雲勾玉(まがたま)」の竹崎一雄氏が役場六日市庁舎へ来庁されました。

竹崎氏は、錦織監督の映画には「日本人が大切にしなければならないものが詰まっている」と感銘され、企業の役職を退いてから同監督の活動を支援されています。

この度、映画「高津川」を多くの皆さまにご覧いただき感じてほしいと、島根県内の中学校、高等学校や公立図書館等へDVD(公共機関・図書館等使用許諾済)を寄贈されるということで、ロケ地である当町へ錦織監督とともに来町され、岩本一巳町長へ寄贈の目録を手渡されました。

このDVDは、町内の中学校、町立図書館へお届けいたします。多くの皆さまにご覧いただけることを願っています。





町長コラム

Vol. 65

吉賀町長
岩本一巳

あの養老孟司先生が…。

皆さんは、「バカの壁」という本をご存じだと思います。500万冊のベストセラーです。そう、この本の作者は解剖学者としても有名な養老孟司先生です。なかなかお目にかかることの出来ない先生ですが、昨年に引き続き去る5月13日（土）・14日（日）吉賀町にご来町されました。今回のご来町は、「NPO法人日本に健全な森をつくり直す委員会」（事務局…吉賀町柿木）主催による養老孟司先生・藻谷浩介先生共著「日

本の進む道く成長とは何だったのか」出版記念の晩餐会&サイン会、「養老先生とゾウムシ採り」の開催に伴うものでした。

出版記念の晩餐会&サイン会は、13日（土）夕刻から「老人福祉センター」（柿木）に於いて開催され、約50名のファンの方々が先生と食事をとりながら楽しく懇談され、出版書籍へのサインを頂きました。また、養老先生とゾウムシ採りは、14日（日）午前、上高尻の「ゴギの郷」で約60名の皆さんが参加し、先生と一緒にゾウムシ採りに挑戦しました。残念ながら、私は今年もゾウムシを採集することは出来ませんでした。

2日間、先生とご一緒に過ごし、時間の合間に田舎暮らしのことについて意見交換をしました。先生は、かねてから首都直下型地震や南海トラフ地震などを例に挙げ、生活場所は地方に「分散」している方が安全であり、都市と田

舎との「二地域居住」の大切さを訴えられています。このことを実現するために、普段から都市と田舎を行き来することを提唱され、そのことを「現代版・参勤交代」と表現されています。今回のイベントにも町外県外から幅広い年代の方々にご参加頂きました。一級河川・高津川の清流や四季折々姿を変える山々などの素晴らしい自然、そして地域で育まれた伝統文化や食文化を肌で感じて、この吉賀町の良さを実感して頂けたものと思います。

今後もこのようなイベント開催と連携して、町内の皆さんは勿論ですが、この町を訪れる皆さんには、一人でも多く「吉賀町ファン」になって頂きたいと思っています。そして、養老先生が説かれている「二地域居住」・「現代版・参勤交代」の対象の地として吉賀町が選ばれることを願っています。



【ゾウムシ採りのひま】



【養老孟司先生とご一緒に】


2023 **8**

サンネットにちはら番組表

※ ●1Hごとに放送 ◎2Hごとに放送 ▲3Hごとに放送 ★4Hごとに放送 [特] 特別番組

[字] 耳が不自由な方や声が聞きとりにくい方にもわかりやすいよう文字を表示しています(隔時間)

月	火	水	木	金	土・日
体操の時間	1	2	3	4	5・6
月曜日～金曜日 6:00～9:00 15:00～17:00 体操番組を放送! テレビの前で 体を動かしましょう	9:00 ●柿本人麿没後1300年! ひとなぞクイズ 9:30 ●釣りしんちゃい!	9:00 ●出雲のほそ道 9:30 ●島大病院ちよっと 気になる健康講座	9:00 ●釣り天国! 石見 9:15 ●探偵社、ぶらり。 9:30 ●くわいだん-怪談- 9:45 ●とんと昔があつたげな	9:00 ◎着物暮らしのすすめ ～夏を楽しむ浴衣～ 初心者でも簡単に、着崩れ せず美しく見せることがで きる着方のコツを、著名人 のスタイリングや着付けを 数多く手掛ける講師に学び ます	6:00 ●ニュース サンネット [字] ニュース終了後 ●かのあし 安全安心だより 5日19:45 6日19:30 松江水郷祭湖上花火大会 【112CH 生中継】
7	8	9	10	11	12・13
9:00 ▲ニュース・サンネット 総集編【7月放送分】	9:00 ●気仙沼めつけ 9:15 ●フォト旅はままつ 9:30 ●荒磯館料理長の 手軽に一品	9:00 ●あいラブせんりゅう 9:30 ●いい伊豆みつけた	9:00 ●わがと家の人々 9:15 ●アウトドアビギナーズ 9:30 ●藤岡大拙・大西友子の 出雲弁よもやま話 9:45 ●サウナ道ノススメ	9:00 ●CATV情報ネット しまね 9:30 ●美肌県島根へ行こう! 9:45 ●おくいずも新探訪 ～さらに「奥」へ～	6:00 ●ニュース サンネット [字]
14	15	16	17	18	19・20
9:00 開局20周年記念アーカイブ番組 津和野町神楽共演大会 (2019年放送) [特] 17:00 「わたし、語り部になる。」 19:50 吉賀町ふるさと夏祭り 花火大会【生中継】	9:00 ●柿本人麿没後1300年! ひとなぞクイズ 9:30 ●釣りしんちゃい! 19:50 にちはら鮎まつり 花火大会【生中継】	9:00 ●出雲のほそ道 9:30 ●島大病院ちよっと 気になる健康講座	9:00 ●釣り天国! 石見 9:15 ●探偵社、ぶらり。 9:30 ●くわいだん-怪談- 9:45 ●とんと昔があつたげな	9:00 ◎心に響く書 あなたの気持ちを届ける NHK大河ドラマや連続テレ ビ小説の書道指導を担当し 日本を代表する若手書家が 語る、想像をはるかに超えた 「書」の魅力と楽しみ方	6:00 ●ニュース サンネット [字] ニュース終了後 ●よしかの里の昔話
21	22	23	24	25	26・27
9:00 ◎雲南市創作市民演劇 「花みちみちて街」 [特]	9:00 ●気仙沼めつけ 9:15 ●フォト旅はままつ 9:30 ●荒磯館料理長の 手軽に一品	9:00 ●あいラブせんりゅう 9:30 ●いい伊豆みつけた	9:00 ●わがと家の人々 9:15 ●アウトドアビギナーズ 9:30 ●藤岡大拙・大西友子の 出雲弁よもやま話 9:45 ●サウナ道ノススメ	9:00 ●CATV情報ネット しまね 9:30 ●美肌県島根へ行こう! 9:45 ●おくいずも新探訪 ～さらに「奥」へ～	6:00 ●ニュース サンネット [字]
28	29	30	31	夏の特別番組	受付時間
9:00 ◎稲田神社 謡の奉納 [特] 11:00 ●世界への挑戦 島根への想い ～ドラマ監督福澤克雄～	9:00 ★島根県中学校 益田ブロック バレーボール大会 [特]	9:00 ◎森茉莉生誕 120周年記念講演会 [特]	9:00 ◎津和野高校 文化部合同公演 JAM20th [特]	8月14日17:00～ NHKエンタープライズ制作番組 「わたし、語り部になる。」 広島で生まれ育った佐 古季暢子さん。語り部 を志した若き女性の1 年間の記録。	サンネットにちはら Tel 74-2099 Fax 74-2667 平日 8:30～17:15 (土・日・祝は開庁) 緊急連絡先 セコムコントロールセンター Tel 0852-28-0016

花火大会生中継			サンネット LINE 公式アカウント
【8月5日・6日】 松江水郷祭湖上花火大会 8月5日19:45～ 8月6日19:30～ 112CHで生中継 山陰ケーブルテレビ制作	【8月14日】 吉賀町ふるさと夏祭り花火大会 8月14日19:50～ 111CHで生中継 サンネットにちはら制作	【8月15日】 にちはら鮎まつり花火大会 8月15日19:50～ 111CHで生中継 サンネットにちはら制作	 番組情報などお届けします! ぜひ友達登録をお願いします!

※編成の都合上、番組・内容が変更になる場合があります あらかじめご了承ください ※変更の際は111chのデータ放送等でお知らせします

《寄稿》

柿とイナゴ！（昔の話第四弾）

竹中 和博

夏来たりなば、秋遠からじ！秋の楽しみは…と言え、生り木の元へ大集合！」と成ります。昭和30年代、各戸には必ずと言っていい程柿の木が有りました。富有、百目、西条、それに猿、甘柿、渋柿色々な種類の柿があつて、子供からお年寄りの方まで、それぞれ色付くのを楽しみにしていたものです。食べ頃になると子供は特に大変で、他の家のものでも、ほぼ無断で取って食べていました。當時はよく当家のおじいさん等に見つかって追いかけれ、捕まったら尻を叩かれたりとまあまあ軽い刑で許されていたものです。

甘いお菓子など滅多に食べる事が無かった時代で甘い柿は、子供の一種遊び感覚で取って食べ、楽しんでいました。

柿だけではなく秋にはこんな物も食べました。「イナゴ」（稲子）も捕って、針金などに串刺しにし、藁を燃やして、少し焼いて家から

親の目を盗んで持ち出した醤油を少し付けて食っていました。あの頃の私の舌には、結構美味しいものだったと記憶しています。

今、私の近くの農場で働いているカンボジアの人に聞けば「こおろぎ」も、貴重なタンパク源として食べるということです。

今では、全く想像も出来ないような食生活だった頃の様子ですが、楽しく、ドキドキで、外での遊びに夢中になっていました。

《寄稿》

郷里回想録自伝一

橋本 雅夫

昭和二十年、日本国はかつての大東亜敗戦を得て民主国家へと歩み始めた。つまり、米国軍の支配下と相成る。従って巷市井間では、軍歌促愛貌とつくに文化主導のカフェ、バー等復活と相成りジャズメロディー台頭一色化と成す。従って全国主たる市中も然り、戦車、戦闘機等が連日進駐軍往来の世相背景下で、郷里の美空も是又、限無く米軍の戦闘機が二、

三十機の編隊を組み連日の様に爆音を轟かせていた。其の矢先同年紀二十五年秋暮の時分、突如東上空より三機の米軍戦闘機が鉛色雲をつき出現す。そして凄じ爆音と共に北側上空を飛行中其の内の一機が更に異常な大爆音を発し見る間に片翼から黒煙を「もくもく」と大量出量間髪入れずに忽ちの内面に左へ大きく旋回し始めた。（つまり錐揉み状態に入り）そして遂に爆裂音と共に北側の山間へ機影が消滅す。傍に居た大人達が口々に口走る「今のはアメリカの戦闘機じゃが、こりゃあ堅固に落ちたで、わりイ音がしたけえ」と口々に叫んだ。すると其の内早くも口込みで誰とは無しに「今、アメリカの戦闘機が町内朝倉区坂折山に墜落したで」と口伝する。促座に皆々はそれぞれに古い自転車やリヤカーあるいは乗馬等で地元民共々現場へ多く参集す。

此の現場は人里少々離れた山中中腹で頂上より下降する事約二十五間位の地滑りの痕跡と共に谷底に米軍戦闘機が墜落してい

た。周辺の草木は切れぎれに薙ぎ倒されきつい燃料塗料の臭気が漂い方々から火煙りが「もくりもくり」と上昇していた。間もなくすると関係者に先導されて米国人パイロットが一人急斜面より助力で昇る。背高く腫青く少々赤ら顔で大小の負傷を負い俯き加減と見参す。此の期の米軍の主力戦闘機はロッキード、P三八、グラマン・カーチスである。此の内の墜落一機は当時世相上通常に解すればグラマン機であつたと記憶す。此の様に戦争は争いは後々迄も互い人間、又自然、更には地球をも破壊殺生傷付ける。

尚更の事では有るが、美しい「美空」とは裏腹に戦雲は暗い。勝者敗者隔たり無く常々には是は暗いのである。

つまり「暗雲」の空である。万物、人間（類）は常に「地球によつてすべて守られ生（息）している」と案じてやまない夏間の夜ではある。

人類未来永劫何処へとならなむと…。了

《寄稿》

映画鑑賞「人生いろいろ」

田村 民子

令和五年三月二十九日の上映「木の葉集め」

私も二十年前テレビを見て今までは記憶散漫にもなり今度七〇才位の老人の認知症の予防に役立つ趣味の一つとして杉葉樹、緑葉樹、紅葉樹、川に地生している「クレソン」、芹子。田舎では売れない都会の旅館、料亭など必要な料理のつけあわせ思われる所へ出品。二億円とは驚きました。私も一人でやってみました。思うようにはありません。

二〇年前は「JA」の職員がリーダーシップをとり、七〇代では体力も然程使わず心のコンディションを保つのも老後の道楽と楽しめと言え

るのではないのでしょうか？

人生下り坂の方が落着いて風景など眺められ超高齢化社会を迎え、最近百才前後の人達を意味する「アラハン」という言葉も生まれました。

私も主人に先立たれショックと自律神経で体調を悪くして六日市町銀杏寮でよくして戴き贅沢な暮らしをさせてる現在です。

《川柳》

人生をさわやかに生き時を知り

岩上武史

コロナ逃げマスク外れてにぎやかに

石村菊夫

爽やかな若手を望む町議会

水上健二

田植終え蛙の声もさわやかに

安永藤子

声だけは老を見せずに爽やかに

田村民子

さわやかな風に吹かれて汗が引く

大庭和子

山の青空気爽やか心地良い

寺戸美瑛子

人に会う息爽やかに歯を磨く

澤三智代

爽やかに朝のあいさつおはよう

池下邦枝

想定外爽やかうすれる初夏の塵

橋本雅夫

爽やかな天気恋しい梅雨の空

折口沙羅

朝顔が朝は元気午後しぼみ

村上毅

《俳句》

信楽の狸の腹よ夏来たる

茅原久子

月曜の子らのおしゃべり夏来たる

村田綾美

短夜や辞書にあてがふ虫眼鏡

齋藤ツル子

祖母遙か縁のはがれし黒扇

三浦一美

良し悪しのつかぬ木耳手に思案

山崎美智子

燕ひくく飛び交ふ峽や友を待つ

河野由希

芍薬の白きを讃へ旬会場

青木道子

和が心蝶と飛ゆく五月空

田村民子

あじさいや色鮮やかな雨上がり

村上毅

竹やぶの木陰の椿のより赤き

長峯辰雄

《短歌》

さりげなく末期の癌と言ひし友

梅雨の名残りの今日計報聞く

村上勝史

とつとつと語るごとくに文を打ち

昼前にしてメールを送る

長峯辰雄

国鉄の職員たりし思い出も

遠くなりきて燕のマーク見る

田村民子

出生くすこやかにく (6月届出)

岸田 侑季(ゆき)さん

友成・杏さんの子

立河内

福島 心蓮(こころ)さん

孝城・文香さんの子

六日市

お悔みくやすらかにく (6月届出)

中林 律子さん

六日市

見川 寿磨子さん

七日市

同意が得られた方のみ記載しています。

寄稿・文芸コーナー

応募方法とお知らせ

●毎月1日までに企画課へ提出してください。

●寄稿の場合は五〇〇字以内としてください。

●楷書で略字を使わず、漢字は常用漢字を用いてふりがなを振ってください。

●応募作品は基本的に原文のまま記載しますが原文の意味を損なわない範囲で修正する場合があります。

●作品の内容によつては掲載しない場合があります。

●応募多数の場合は掲載しない場合があります。

●掲載希望のコーナー名を記載ください。

●掲載の有無は連絡いたしません。

※応募された方は右記を了承いただいた事とさせていただきます。

グラントワ
Grand Toit

島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM
いわみ芸術劇場
IWAMI ARTS THEATER

掲載されている内容は、2023年7月4日時点の情報です。
最新の情報は、グラントワホームページをご覧ください。

問合せ TEL: 0856-31-1860 FAX: 0856-31-1884
E-mail: zaidan@grandtoit.jp https://www.grandtoit.jp

Facebook
更新中!

山本栞谷の
絵師たち



山本栞谷《牧童図》明治時代
東京国立博物館蔵
Image: TNM Image Archives

幕末から明治へ、
激動の日本を
絵筆でわたった
石見の天才

2023
7/8(土) 8/28(月)

【前期】7月8日(土)～7月31日(月)
【後期】8月2日(水)～8月28日(月)

【開館時間】9:30～18:00 (最終入場17:30まで)

【休館日】毎週火曜日(8月15日は開館)

【観覧料】一般1,000円、大学生600円、小中高生300円

※企画展のみの料金

山本栞谷《桃花雀図》[部分]
慶応2年(1866) 個人蔵



企画展

山本栞谷と
津和野藩の
絵師たち

没後150年

関連プログラム

◎ 美術講座「津和野藩の絵画史」

8月12日(土) 14:00～15:30

【講師】角野広海(当館主任学芸員)

【会場】講義室 申込不要/参加無料/先着40名

◎ グラントワteaガーデン「つわ乃茶」

8月13日(日) 10:30～

【会場】美術館ロビー 無料/先着100名

※観覧券またはミュージアムパスポートが必要です。

◎ ギャラリートーク

7月30日(日)、8月26日(土) 各日14:00～

申込不要/参加無料

※観覧券またはミュージアムパスポートが必要です。



企画展
特設サイト



島根県立石見美術館

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

いつでもどこでも音楽祭
「teaガーデン」同日開催

津和野を拠点に活躍する
邦楽グループ「韻(ひびき)」による
箏と胡弓の演奏をお届けします

いつでもどこでも音楽祭

津和野邦楽グループ

韻
コンサート

世良 紀子

帯名 久仁子

藤原 文香

2023 8/13(日) 開場 13:30/開演 14:00 (終演14:40ごろ)
会場・大ホールホワイエ 観覧無料(全席自由/申込不要/先着順)

いわみ芸術劇場ホール再開記念



2023.
8.11

グラントワ
大ホール

開場 16:00

開演 17:00

全席指定・税込

8,800円

※未就学児入場不可

※チケット完売の場合はご容赦ください



チケット
残り
わずか

いわみ芸術劇場ホール再開記念

チケット
好評
発売中



製作 松竹

令和5年度(公社)全国公立文化施設協会主催 西コース

松竹大歌舞伎

2023年9月10日(日) 開場13:15/開演14:00
会場・グラントワ大ホール
[全席指定・税込] S席8,000円/A席6,000円/B席3,000円
※未就学児入場不可

令和5年度
夏休み!グラントワ
たんけんツアー!!

日時 2023 8/14(日) 10:00～11:45 会場 グラントワ 大ホール
13:30～15:15

参加対象 小学生(保護者同伴可) 参加費 300円(税込)

参加方法 以下の専用QRコードから申込(各回別)

参加申込 受付開始 7/30(日) 9:00～
10:00～11:45 / 13:30～15:15

詳しい内容はグラントワホームページをご覧ください

ハロポンズ
ファミリーコンサート
9月23日(土・祝)
会場 島根県芸術文化センター「グラントワ」大ホール
開場13:00 料金 一般2,000円/小学生以下1,000円
開演13:30 ※当日各500円増 ※3歳未満の膝上鑑賞無料
※無料託児サービスあり(9/16までにグラントワまで申込)